

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4205	(H.22)No.	4031
-----------	------	-----------	------

事務事業名	小波田川流域排水管整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室	大西 勝	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施 策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード	4-5.下水道事業の計画的な推進		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	411601
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	小波田川流域排水管整備事業	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 流域排水管整備費	小波田川流域排水管整備事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
美旗地区市有地排水管の整備事業費は143,100千円であり、平成21年度で排水管敷設詳細設計を行い、平成22年3月から平成23年3月にかけて排水管布設工事を行います。	

めざす効果(事業目的)
美旗地区市有地排水管を小波田川共同排水管に接続整備することで、美旗地区への企業立地促進と雇用の創出を図ります。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	H22年度への繰越明許費 全体事業費114,600千円 内訳 詳細設計業務委託、排水管 布設L=1430m、工事管理業 務委託等	全体事業費28,500千円 内訳 排水管布設L=270m、マン ホールポンプ設置1基	補助金・交付金	その他 ( )	
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
<b>事業費 (千円)</b>	<b>114,600</b>	<b>28,500</b>			
の 財 源 内 訳	国庫支出金	97,235			
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	17,365	28,500			
人工数	職員(人)	0.76	0.35		
	臨時職員等(人)				
<b>人件費 (千円)</b>	<b>5,548</b>	<b>2,555</b>			
<b>総費用 + (千円)</b>	<b>120,148</b>	<b>31,055</b>			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成21年度の( )内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	ha	-	-	8.7	-	-
	実績		-	0		-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		平成22年度で排水管の設置を完了し、平成23年度からの供用開始を目指します。					

### 6. 事業を取り巻く環境

<b>事業環境の今後の変化</b> (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	<b>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</b>
美旗地区への立地企業の操業開始に合わせて、平成22年度中に事業を完了する必要があります。	今回布設する排水管は、どの処理施設へ接続するのかの意見があり、当面は処理水で小波田川へ放流することで、説明しています。将来的に、近隣のゴミプラの管をこの排水管に接続できるのかについては、公共下水道の認可区域となった時に可能としています。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組 ('新しい公') の推進		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない) ( へ )	協働等の主な相手先について	外部(三重県建設技術センター)へ業務委託することにより事業の進捗を図っています。  道路改良工事に合わせて、排水管及び水道管の布設も同時施工することにより、事業費の縮減を図ることができます。
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<b>総合評価(事業の展開方法)</b> 平成22年度事業完了	<b>特記事項</b>
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.

(H.22)No.

6081

事務事業名 農業集落排水施設整備事前調査事業(比奈知地区)			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(集排担当)	福川 拓雄	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施 策	1	下水道等
	小 施 策	2	農業集落排水処理施設の整備
	重点施策コード	4-5.下水道事業の計画的な推進	

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	328003
一般会計	(中事業名)	
款 農林水産業費	農業集落排水施設整備事前調査事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	農業集落排水施設整備事前調査事業(比奈知地区)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
比奈知農業集落排水施設整備 計画処理人口:1,600人、管路延長:15,000m、汚水処理施設:1式 全体事業費:1,700,000千円 平成22年度:7,700千円 平成23年度:基本設計、路線測量、管路実施設計等 平成24~28年度:管路、汚水処理場建設工事 事前調査事業のみを一般会計で行うため、平成23年度以降は農集特会に移行	

めざす効果(事業目的)
農業集落排水処理施設を整備することにより、公共用水域や農業用排水の水質保全及び農村地域の生活環境の改善を図ります。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		委託料 7,700千円	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
<b>事業費 (千円)</b>		<b>7,700</b>			
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(分担金)		770		
	一般財源		6,930		
人 工 数	職員(人)		1.05		
	臨時職員等(人)				
<b>人件費 (千円)</b>		<b>7,665</b>			
<b>総費用 + (千円)</b>		<b>15,367</b>			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成21年度の( )内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	農業集落排水施設を利用できる市民の割合 (人口普及率)	%	8.9	9.3		11.0
	実績						
活動指標	目標	農業集落排水施設に接続している人口	人	6,539	6,856		8,230
	実績						
考察及び今後の対応方針		引き続き、農業集落排水事業の推進を図り、生活環境の改善に向けて努めます。					

### 6. 事業を取り巻く環境

<p>事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>生活污水により水質悪化し、生活環境の劣化が進んでいます。 補助金制度から交付金制度に改正します。</p>	<p>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>事業の継続が求められています。</p>
---	--

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼	
(2) 現在の事業費の範囲で)効果をもつ方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	備考欄	外部へ業務委託等により事業の推進を図っています。
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼		施設完了後の接続への普及促進のPR。

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<p>総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)( 理由 (2)へ) ▼</p> <p>(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など</p> <p>(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 平成22年度より計画通り進め、平成28年度が完了年度になっており予定通り事業実施していく。</p>	<p>特記事項</p>
--	-------------